

はじめに

この冊子は、いろんなご事情でどうしても説明会に来られない方のために、また説明会でも、なかなか言葉では伝わりにくいことや、それぞれにとらえ方にも違いが有ります。私もこう説明すればよかったと思った事などを文章にしました。あれもこれもと、盛りだくさんになってしまいましたが、お時間がありましたら目を通していただければ幸いです。

募集要項の補足説明用として作りましたので、どうぞご活用ください。ご質問などあれば、いつでも住の江幼稚園までお問い合わせください。

それでは皆様にお会いできる日を、教職員一同楽しみにしております。

住の江幼稚園 学園長 市田守男



←携帯サイト用 QR コードです。

TEL 06-6613-0800

Eメール suminoe@mac.com

ホームページ <http://www.suminoe-k.ed.jp>

住の江幼稚園の保育内容について

教育目標

素直で明るい元気な子ども

健康で豊かな心をもつ子ども

すすんで参加し、仲良く遊ぶ子ども

住の江幼稚園では、「のびのび、いきいき、わくわく」というキャッチフレーズで保育を行っておりますが、時折「のびのび」といえば「自由にのびのび」と思われます。ここまではいいのですが、さらに「自由＝放任」というとらえ方をする方もおられます。つまり、「自由保育＝放任」ととらえられると、ずいぶんと本園の意図するところからはなれてしまいます。**自由保育のなかには、環境構成や先生と子どもたちとのかかわり方など人的、物的環境設定が多いことを考えていただきたいのです。**

自由には責任をともなってこそ自由であり、放任は無責任です。

本園のめざす保育は「選択の自由がある保育」です。この自由感あふれるのびのびとした保育の中から、子どもたちが自己責任を学んでほしいと思います。

この教育目標をもとに「たくましく生きてゆく力」を育ててほしいと願いながら、職員も子どもと一緒に学んでいきたいと思っています。そして、子ども一人ひとりを大切に、きめこまやかな教育を行なって、ふたたび訪れることのない大切な幼児期だからこそ、子どもの幸せを第一に考え、健やかな成長を願っています。

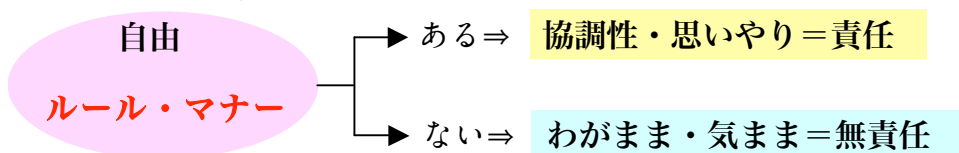
幼児期はこれからの人生を左右する人格形成の重要な時期



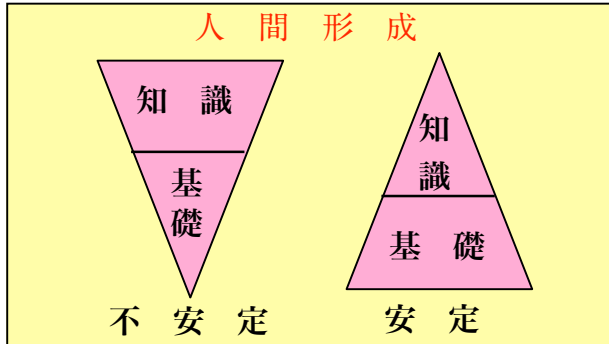
人間形成の基礎をしっかりと培う時期です。目には点数として見えませんが、成長してからでは育ちにくい豊かな心をまず育てましょう。

安定した豊かな心が根付く前に、知識や学力ばかりを習得したとしても精神的に寂しい人間になってしまうのではないのでしょうか？

豊かな心の上に知識を習得してこそ、初めて自身の『生きる力』となっていくのです。



※責任も持つからこそ選択の自由が生まれる。



子どもをどちらに育てたいと思いますか？

当然、右側の方がいいですね。

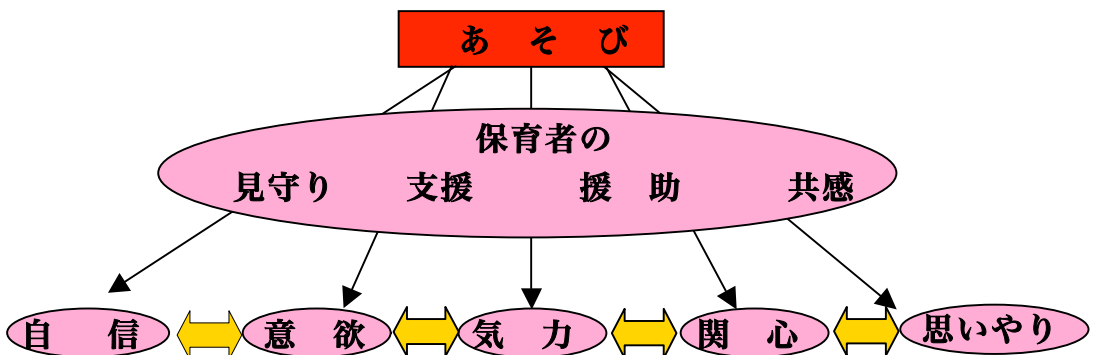
しかし、頭では分かっているが無意識に左側を期待してしまうケースあります。これは、親の責任だけではなく、社会の風潮や幼稚園側の対応にも問題があると思われまます。

住の江幼稚園では・・・取り組んでいます

①人間形成の基本・豊かな心を育てるために

まず、子どもが楽しんであそんでくれるために、保育者は子ども達との関わり方を大切にしています。

子どもはあそびが大好きです！ 子どもの仕事はあそびです！

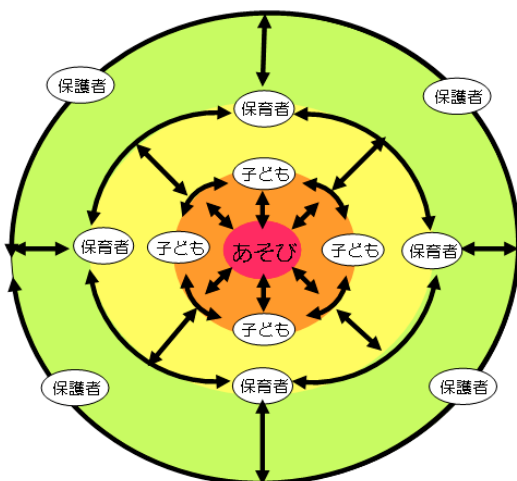


子どもの発信は何事もあそびです。そのあそびを通し保育者が一人ひとりの

個性と人間性を尊重しながらかかわっていくことで、様々な『力』を身につけて行って欲しいと考えています。

②一人一人を生かした集団（幼稚園）
（あそぶことで人と接する基本を学ぶ）

幼稚園に入園したから即集団生活というわけではありません。クラスには入るものの、その集団は初めから成り立っているわけではなく、最初はその部屋に属しているくらいに考えてください。特に小さな子どもにとっては、一緒に遊ぶことが楽しいというよりは、その遊び自体が楽しいから一緒にいることが大部分なのです（平行遊び・傍観あそび）。



上図のようにあそびから発信された矢印が子ども同士をつなぎ、様々な方向へとつながり、みんなと仲良くあそんで楽しい！と感じられる集団になっていくものなのです。

そして初めて・・・子どもたちが共通の目的を持ってあそびます。

共同的なあそび → **共同的な学び（協力・ルール・役割）**

自分たちで ・考える ・工夫する ・発見する

子どもの自信・意欲へ・・・つながっていくのです。

③自信を育てる

子どもたちに持って欲しい自信とは・・・他の人と比べて優秀だということではなく何ができるかわからないけれど『頑張ればできるようになる!』ということです。誰かの言うとおりにただやってみて、その結果できたとしてもそれはその子の自信にはつながりません。挑戦し試行錯誤しながら完成度はどうあれ、自分の頑張りに満足し自分の良さを実感できることが大切です。そう思うことができればきっと・・・

自分のことを大切にしてくれる子になってくれるでしょう。

・友だちのことも大切に思う・物を大切にする(道徳の芽生え)

運動会、造形あそび、絵画展、音楽会、生活発表会等々の行事にはそのような願いや思いを込め一人一人の持つ力のほんの少し上にハードルを設定しながら、それを乗り越えられたときの達成感や充実感で、自信へとつながる事を目標に取り組んでいます。園では、その過程を最重要視し、先生も子どもも一体となって、1つの目的や目標課題に向かって共に泣いたり笑ったりしながら行動していくことで、より信頼性が高まることを大切にしています。

住の江幼稚園の活動の柱「のびのび、いきいき、わくわく」を考える

子ども達は、のびのびと遊び、心と身体に「快」の感覚を十分に満たします。そうして仲間との関係を築く経験を毎日重ねることで、少しずつルールをもった自律的、自治的ないきいきとした活動へと発展しわくわくとした気持ちになっていくのです。その時に、保育者は自分の考えを押しついたり、厳しく叱るのではなく、保育者自身が、子どもと向き合い、見守りながら、大きな気持ちで伝えていくことが大切だと考えています。

- のびのびと心から表現し、たくましく、いきいきと活動できる
- 人の話を集中してきける
- 話を心で受け止め、自身で考え伝えていく
- たくさんの経験や友だちと力いっぱい遊ぶ中で、幅広い人間形成の基礎を培う

住の江幼稚園では、一人ひとりの個性と人間性を尊重することが保育である

と考えています。人間同士（保育者と子ども）の心のふれあいを本園で学んだ子どもたち。

きっと、大人になってからも、人の話をしっかりと心で聞ける、温かな人間になるでしょう。そして、子どもの主体性・創造力を積極的にいかし、子どもの心にスポットをあてた保育をしています。

行事 文化の伝承と躰について

(1) 七夕まつり、野点、もちつき等

古来から伝わる社会行事については、子どもの社会性、情操性を高める意味から、保育の中に遊びとして取り入れています。

(2) 社会見学

動物園、交通科学館、みかん・ぶどう狩り等の味覚狩り、野鳥園、キッズプラザ、市立科学館、エルシティ 等々

機会があれば、どんどん幼稚園の外へ出て、園内で得られない体験をさせてあげたいと思っています。

現代の子どもと親の現状

－ 今の問題と考えること －

合計特殊出生率の低下といわれて、久しく、子どもの数が少しずつ減ってきて、物質的に豊かになったにもかかわらず、子育てが楽になって、楽しいというお母さんは、残念ながら少ないようです。1つの理由として、「育児環境の貧困化」があると思います。

私たちは、昔の子どもと、現代の子どもを比較して、その体力や知的能力に、それ程大きな差がないと思っています。違いがあるのは、子どもを取り巻く自然や社会親子関係も含めた人間関係だと考えています。それにあわせて、早くから競争にまきこまれるとか、遊び場がなくなってきたとか、子どもの仲間集団が消えてしまった

ということでしょうか。昔であれば、たくさんの兄弟姉妹、おじいさんやおばあさんとの暮らし、その中で、人間同志の交流が充分育ち、又、身近な自然では、「子ども」として経験すべき様々な刺激が得られていました。同時に自然のありがたさ、厳しさ、不思議さは、子どもの心をあきさせる事はありませんでした。

今の子ども達は、仲間が少なくなり、自己表現や相手の話が聞けなくなり、人間関係がうまく構築できなくなりました。危険な場所は、その危険な場所を避けるオトナの配慮が行き届きすぎて、危険回避能力が乏しくなった。転倒しても手がかからないどころか、臉を閉じることすら出来なくなった。ビデオ・パソコン・電子ゲームの普及で、想像力が乏しくなり、激しい光や音の刺激にしか反応しなくなった。心の痛みが理解できない、過剰な清潔癖から汚れを極端に嫌う傾向が強くなった。密接すぎる母子関係から、あまえ癖がつき、いたずらができなくなった。外食や調理済み食品の普及で、食への感謝が希薄になり、魚は切り身で泳いでいると思っている。薄味で満足できなくなった。季節感がわからない。等々・・・。

－ 子育てのむつかしさ －

そんな中で、子育てのための情報は、メディア・本・インターネットからあふれてきた事にとまどって、かえって子育てに自信をなくしていく親が多くなったという問題があります。育児書の内容や耳にした情報と、我が子の実態が違えば、それだけで不安になり、いずれも子育てを難しくし、親の自信を奪ってしまい、不安は募るばかりです。親の望み通りに子どもが育たない焦りや、子どもの成長の道筋を理解できず、ありのままを受け入れられないことなどから、子どもを護るべき親が、児童虐待につながりかねません。

現代の日本の社会、子どもにとっても親にとっても、生きることは大変です。

住の江幼稚園は、少しでも皆様の子どもの幸せをと願う思いの実現の為に、微力ですが努力したいと考えています。子育てに正解はありません。しかし、一緒に考える事はできると思うのです。

子育て支援事業について

わたしたちのもう1つの使命は、子どもが健全に育つように、ご家庭にむけても支援することです。「子育てのむつかしさ」でもふれましたが、親として何をすべきかと考えると、何かと大変な時代になってきました。しかし、大人が不安な感情をもつことは、子どもを不安にさせてしまいます。

ということで、住の江幼稚園では、専門の心理カウンセラー(学校心理士・臨床心理士)をお招きして、適時、カウンセリングを開いています。お子様のことでも保護者ご自身の悩みでも応じていますので、いつでもどんなときでもおうかがいいたします。

未就園児事業

未就園児対象の親子くらぶ

- ・サタデーピヨちゃん { 無料、初回登録バッチ代のみ。
園庭開放と先生との親子活動

- ・ピヨピヨカーニバル { 毎年7～8月頃
未就園児イベント 無料
コーナーあそび
職員による人形劇や手あそび
- ・ピヨピヨランド ・有償 年間継続コース
- ・ピヨピヨ運動会
- ・ひよこぐみ { 有償 2歳児保育
ニーズに合わせてコース有

等々を企画し、子育てを企画し、子育てを共通の話題に仲間の輪もひろがります。

幼稚園での一日のながれなど、くわしくは住の江幼稚園ホームページをご覧ください。また、ご質問などは直接、幼稚園にお問い合わせください。

ホームページURL

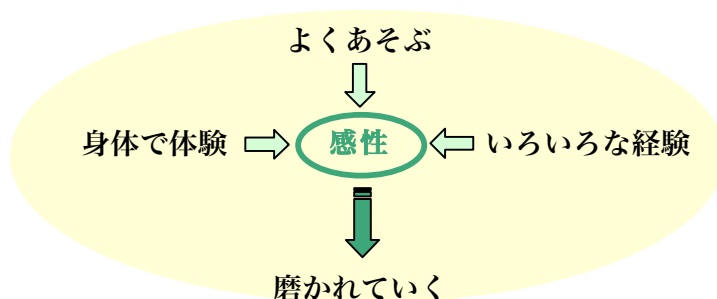
<http://www.suminoe-k.ed.jp/>

沿革の概要

昭和 29 年 12 月	創設
昭和 43 年 4 月	法人設立学校法人森岡学園となる
昭和 52 年 12 月	大阪市の行政により現在の場所に新築移転
昭和 53 年 6 月	学校法人森岡学園 住の江幼稚園となる
平成 16 年	創立 50 周年をむかえる

様々なことに取り組む理由・・・

本園では、先程述べました保育の中に、**積木教育・絵画造形・音楽教育・文字・英語・体育指導**を取り入れています。「えっ！そんなに・・・」と感じられるかもしれませんが、子どもの可能性は無限です、だからこそ「これだけ」という偏りがあるてはならないと考えています。子どもたちには、いろいろな経験や遊びを通して学んで欲しい。そして、**いろいろな、選択肢の中から自分で選び、考える**、そして自分で決めたことを最後まで頑張りぬく子になって欲しいのです。そして、同時に感性を育むことにも繋げていきたいと思っています。今日では多くの情報から必要な情報、大切な情報を見分ける能力が必要となってきています。もはや、**情報収集能力より情報処理能力の方が大切**になってきます。情報を処理するということは、個々の感性によるところが大きいですと言えます。だからこそ「感性をみがく」ことが大切になってくるのです。そして、「感性をみがく」には・・・



おわりに

赤ちゃんの時、お母さんのぬくもりを感じ、安心しておっぱいを吸う、スヤスヤ眠る、そんな赤ちゃんの顔をみながら幸せを感じた方は多いと思います。人に甘えられる、頼れるということは、何と安心感を与えてくれることでしょうか。幼児期はこの安心をいっぱい親からもらわなくてはいけない時期です。

肌と肌とのふれあいが目と目、言葉と言葉、形は変わっていきますが、子どもに安心を与えるということは、親の大切な役割です。その安心の量や種類が多い程、将来何かに挑戦する力ややり遂げる力を大きくもつことができます。

幼稚園が子どもの楽園でありたいと私はいつも願いつつ、ガイドを終わります。

不明な点等は、お気軽に何でも、園長までお問い合わせください。



のびのび、いきいき、わくわく。

住の江幼稚園